

沿革

- 【西門川小学校】
- 1892年5月 尋常小学校となる(開校記念日)
 - 1922年4月 川内尋常小学校となる
 - 32年7月 校舎新築
 - 60年4月 西門川小学校に改称
 - 10月 校歌制定
 - 62年5月 校章制定
 - 67年4月 完全給食開始
 - 72年3月 新校舎落成
 - 75年2月 体育館落成
 - 83年4月 複式学級(5・6年1学級)
 - 86年3月 プール完成
 - 92年4月 複式学級解消
 - 2000年10月 運動場のセンダンの木伐採
 - 03年1月 五十鈴小学校との交流学习
 - 3月 給食室閉鎖
 - 07年4月 小規模特認校制度開始
 - 10年4月 特認校区スクールバス導入
 - 12年11月 東日本大震災被災地の福島県南相馬市に児童が作った米を送達
 - 15年8月 デジタル教科書・電子黒板導入
 - 17年11月 県民緑化優秀校表彰受賞
 - 18年11月 日本PTA協議会全国表彰受賞

- 【西門川中学校】
- 1947年5月 門川中学校川内分校として開校
 - 49年5月 校舎落成式
 - 55年4月 川内中学校として独立認可
 - 60年4月 西門川中学校に改称
 - 10月 校歌制定
 - 67年9月 校旗制定
 - 71年4月 運動場整備完了
 - 72年3月 小学校校舎完成により校舎分離
 - 73年2月 校舎改築完成
 - 2月 旧校舎より新校舎へ移転
 - 75年2月 体育館完成、渡り廊下完成
 - 86年6月 プール完成
 - 92年7月 校舎全面改修工事始まる
 - 94年4月 日向地区夕刊デイリー新聞社杯中学生バレーボール大会で男子バレーボール部が優勝
 - 98年5月 日向地区夕刊デイリー新聞社杯中学生バレーボール大会で男子バレーボール部が5連覇を達成
 - 2001年10月 一般教室、特別教室にコンピューター設置
 - 07年4月 小規模特認校制度開始
 - 08年4月 小中連携確立支援事業推進拠点校として認定
 - 11年7月 木造校舎解体
 - 13年7月 ホタル再生プロジェクト開始

思い出をありがとう



今年度末で閉校となる西門川小学校(体育館を挟んで右)と西門川中学校(同左)

西門川小・中 長い歴史に幕

2月16日に閉校式典 記念碑除幕、お別れの会も

門川町の西門川小学校(吉田義校長、14人)と西門川中学校(後藤直樹校長、27人)が今年度末で閉校する。創立は小学校が1892(明治25)年、中学校が1955(昭和30)年で、惜しまれつつ長い歴史に幕を下ろす。閉校記念式典は2月16日午前10時から。在校生や教職員、保護者、地域の人たち、卒業生、元職員らゆかりの人たちが約700人が集い、長年親しまれてきた学びや感謝の気持ちをささげる。閉校記念事業実行委員会(猪倉照央実行委員長)主催。

これまでの卒業生は小学校が約2000人、中学校が約1500人。町内だけでなく県内外、国内外の各界で活躍する人材を輩出してきた。

児童生徒数は、小学校が1960年代には300人を超え、中学校も1970年代初めに約100人とピークを迎えた。その後、徐々に減少。さらに少子高齢化が進む中、減少に歯止めをかけることはできなかった。

今後も地区在住の児童生徒や新入児童生徒の増加が見込めず、「児童生徒の教育環境を第一に考える」として統廃合、閉校の苦渋の決断を迫られるに至った。

閉校記念式典では教育委員会の式辞に続き、町長、西校長らがあいさつ。児童生徒代表から各校長、教育長に校旗を返還する。児童生徒による閉校の言葉の後、両校の校歌を全員で斉唱する。式典後の午前11時30分からは運動場南側で記念碑除幕式、正午からは体育館でお別れの会も開かれる。

式典を前に猪倉実行委員長は、「閉校記念式典、お別れの会で楽しかった思い出などを語るので、思い出だけあればありがたい。子どもたちの声が聞こえなくなるのは寂しいが、みんなでアイデアを出し合い、跡地の有効活用を当局にはお願いしたい」と、地域と共に歩んできた両校への思いを語る。

吉田校長は「長年にわたり地域に支えられ、地域と共に歩んできた学校。すべての児童に対し、いつも温かく接し、支

援いただいたことで、ふたたと自負している」と話す。

閉校までの経緯

西校の閉校について「は、町教育委員会が2007年度に諮問機関「門川町の教育を考える推進懇話会」を通じて地元へ提起。翌08年、「現段階では存続したが、5年後の13年度に再度検討し判断す

る」と答申した。これを受け、町教委は地区住民を中心とした「西門川小・中学校存続統廃合検討委員会」に再び諮問。同委員会は14年1月、6年後をめどに西門川小と西門川中学校を、一緒に統廃合することが望ましい」と答申した。さらに町教委は同年2月、答申を住民の意見として重く受け止め、「6年後の20年3月末の日をもって統廃合する」という長期計画方を賛成多数で可決。小学校は五十鈴小に、中学校は門川中に統廃合されることが正式に決

まされた。17年8月、一部の町民から2校の存続を求める陳情書が町議会に提出されるなど、存続を求める動きもあったが、同年9月の町議会で統廃合に向けて関連する条例改正案を賛成多数で可決。小学校は五十鈴小に、中学校は門川中に統廃合されることが正式に決

まされた。17年8月、一部の町民から2校の存続を求める陳情書が町議会に提出されるなど、存続を求める動きもあったが、同年9月の町議会で統廃合に向けて関連する条例改正案を賛成多数で可決。小学校は五十鈴小に、中学校は門川中に統廃合されることが正式に決

まされた。17年8月、一部の町民から2校の存続を求める陳情書が町議会に提出されるなど、存続を求める動きもあったが、同年9月の町議会で統廃合に向けて関連する条例改正案を賛成多数で可決。小学校は五十鈴小に、中学校は門川中に統廃合されることが正式に決